

数 学 科

【研究主題】

直面した問題をよりよく解決する方法や手順を、筋道立てて考える生徒の育成

【研究副主題】

批判的思考を促す学びの展開

公開授業

学級：2年4組 授業者：入江 康介

データの比較 ～暑い都道府県は？～

学習指導要領の改訂に伴い、「資料の活用」が「データの活用」に名称変更されました。多くの学校では、本領域が年間指導計画の最後に配置されているのではないのでしょうか。他の学習内容の消化に追われるうちに、「データの活用」に充てる時間が不足し、生徒も教師も十分に学習が深まらないまま終わる、という実態を耳にします。情報化の進展に伴い、私たちの身のまわりには大量なデータが溢れており、その中から必要なデータを収集して分析し、その傾向を踏まえて課題を解決したり意思決定をしたりする力が、ますます求められています。だからこそ、中学生にその素地を身につけさせることが、我々数学科教員の使命であり、そのためには私たち教員の知識もアップデートしていく必要があると考えます。

そこで、“**統計的な問題解決における批判的思考を促す学び**”を御提案いたします。

当日は、1人1台端末を用いて箱ひげ図を作成したり、階級の幅を変えたりしながら、データの傾向を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを説明したり、自他の考えを共有し批判的に考察したりして、自他共に納得する根拠を見だし、よりよい結論を導こうとする一連の学びの姿を御覧ください。

メタ認知との関わり

問題の解決に必要なデータやそれらを分析する方法を検討させるなど、「**問題解決のための見通しを立てる**」メタ認知的知識に基づいた活動を仕組みます。また、自他の考えを共有し批判的に考察させる場面を設定することで、「**導いた結論や問題解決の妥当性を検討する**」メタ認知的知識を促します。これらの活動により、生徒が学びを深める姿を御覧ください。

詳細はこちら

長崎大学教育学部附属中学校教育研究協議会

令和6年12月13日（金）13:00 ～ 16:05

